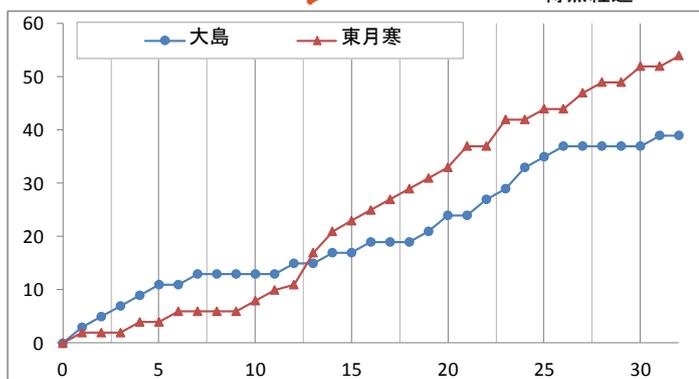




得点経過



大会名	平成27年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校バスケットボール大会																	
会場	一関市総合体育館																	
日時	2015年8月24日(月)	12:10																
コート	Dコート 第3試合																	
カテゴリー	女 決勝トーナメント1回戦																	
主審	加藤 加織																	
副審	市川 雄介																	
TEAM A	TEAM B																	
大島 (茨城県)	●	39	東月寒 (北海道)															
		<table border="1"> <tr><td>13</td><td>1st</td><td>6</td></tr> <tr><td>6</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>6</td><td>4th</td><td>12</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	13	1st	6	6	2nd	19	14	3rd	17	6	4th	12	-			54
13	1st	6																
6	2nd	19																
14	3rd	17																
6	4th	12																
-																		

BOXスコア

TEAM A		大島						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	星 杏璃	×	18	0	9	0	2	
5	鴨志田 七彩	×	15	3	3	0	0	
6	吉野 沙由佳	×	2	0	1	0	0	
7	須藤 ありさ	×	0	0	0	0	5	
8	笹島 あづみ	×	4	0	2	0	3	
9	松井 陽菜	DNP	0	0	0	0	0	
10	軍司 彩華	DNP	0	0	0	0	0	
11	高野 汐音	DNP	0	0	0	0	0	
12	安 郁泉	DNP	0	0	0	0	0	
13	飛田 夢美	DNP	0	0	0	0	0	
14		###	0	0	0	0	0	
15	鴨志田 怜海	DNP	0	0	0	0	0	
16	奈良 美咲	/	0	0	0	0	1	
17	松井 愛依	DNP	0	0	0	0	0	
18		###	0	0	0	0	0	
コーチ	小川 敏志							
合計			39	3	15	0	11	

TEAM B		東月寒						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	阿部 月南	×	9	0	4	1	2	
5	大原 花凜	×	2	0	1	0	2	
6	菅原 亜架音	×	16	1	6	1	1	
7	平塚 茜	DNP	0	0	0	0	0	
8	新延 菜津子	DNP	0	0	0	0	0	
9	佐藤 楓	DNP	0	0	0	0	0	
10	岡 葉純	DNP	0	0	0	0	0	
11	鬼頭 姫花	×	0	0	0	0	0	
12	星川 蒼葉	DNP	0	0	0	0	0	
13	葛城 瑠奈	DNP	0	0	0	0	0	
14	松田 佳子	DNP	0	0	0	0	0	
15	大林 柊	DNP	0	0	0	0	0	
16	田島 若菜	DNP	0	0	0	0	0	
17	山川 萌絵	DNP	0	0	0	0	0	
18	岡本 美優	×	27	0	13	1	2	
コーチ	宮川 裕一							
合計			54	1	24	3	7	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

予選リーグを突破した関東ブロック代表大島と北海道ブロック代表東月寒の決勝トーナメント1回戦。大島はハーフコートマンツーマンDef、東月寒はハーフコートゾーンDefで試合開始。開始直後、大島#5の3Pが入るも、互いに堅いDefで得点を伸ばすことができない。東月寒のゾーンに対抗し、大島は#8、#5、#6らのミドルシュートが入り、徐々に点差を広げる。東月寒は、#6のドライブなどでシュートまで繋げるも、要所でミスが目立ち、13-6で1Q終了。2Q、互いにハーフコートマンツーマンDefで開始。東月寒#18がゴール下を支配し始め、連続得点し流れに乗る。3分間無得点だった大島は、タイムアウトで流れを戻そうとするも、東月寒#4のスティールからの速攻で同点、#6のナンバープレーで逆転に成功する。その後、東月寒#18の3連続得点で差を広げ、19-25で前半終了。

3Q、大島は後半に入っても、東月寒#18を止められず、連続得点され、その差は2桁になる。さらに、東月寒#4の速攻からのバスケットカウントで突き離しにかかるも、大島は#4の3連続得点で、33-42と差を1桁まで戻し、3Q終了。4Q、東月寒#6の3P、#4のカットインシュートで差が2桁になる。残り4分で大島は、オールコートゾーンプレスで巻き返しを図るも、#7のファウルアウトでその勢いもなくなる。攻守に渡ってゴール下を制した東月寒が39-54で勝利し、準々決勝に駒を進めた。